

TOHATSU

PARTNER

2019年1月1日発行 / 新年号

VOL.106



Photo: 第26回全国消防操法大会(日野町消防団)

CONTENTS

年頭ご挨拶	P2	一般販売店さま向け船外機講習の開催	P6
トーハツポンプ 中央会秋期総会	P3	九十九里町片貝海岸における遠距離送水試験	P6
サービス研修会	P3	倉敷市消防局へポンプ搭載の消防車両2台寄贈	P7
塩竈ボート天国開催	P4	東北トーハツポンプ会秋季研修旅行	P7
横浜ボートフェア開催	P4	第26回全国消防操法大会	P7
江ノ島大会2018	P5	トーハツR&Dセンター稼働	P7
田老展示会	P5	SECUTECH 2018	裏表紙
TOHATSUパイロット店講習の開催	P6	欧州国際防災展	裏表紙

年 | 頭 | ご | 挨拶

トーハツ株式会社 代表取締役社長
日向勇美



2019年の輝かしい新年を迎え、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。
日頃より御支援を賜っております多くの皆様に心から感謝申し上げます。

さて、1948年3月7日に消防組織法が施行され、市町村消防の原則に基づく今日の自治体消防制度が確立して以来、昨年3月で70周年を迎えました。消防組織法が施行されたその翌年の1949年に、弊社では揚水ポンプを改良し、小型で持ち運びが可能な消防ポンプの開発に初めて成功致しました。それが、我が国最初の可搬消防ポンプとして、国が定めた「動力消防ポンプ規格」の検定規格合格第1号機であります。それ以来、弊社では可搬消防ポンプの製造、販売を中心とした防災事業を展開し今日に至ります。

お陰様で本年2019年は、可搬消防ポンプの製造、販売を始めて丁度70周年の節目を迎えることとなります。これもひとえに弊社製品を御愛顧頂いておりますお客様をはじめ、各方面のお取引先各位の絶大な御支援の賜物であり、心から厚く御礼申し上げます。

昨年も大阪北部地震、北海道胆振東部地震や西日本豪雨災害をはじめとした自然災害が数多く発生致しました。甚大な被害をもたらす様々な災害は年々増えつつ有り、防災事業を営む弊社にとって、その果たすべき役割は益々高まって来ているものと考えます。

この70年間、オイルレス真空ポンプ、冷却水還流装置、自動中継機能や4ストロークEFIエンジン搭載のポンプ等、新たな技術を生み出し、革新的な可搬消防ポンプを国内外へ提供して参りました。今年からは気持ちを新たにし、弊社では「地域の消防防災力を革新するために」を防災事業のミッションとして掲げ、次世代に向けて新たな消防ポンプの研究開発を推進して参ります。マリ事業では「ポートをもっと素敵に楽しむために」、そして、防災事業では「地域の消防防災力を革新するために」をミッションとして、今後も皆様の期待にお応え出来る企業を目指してまいります。

最後になりますが、本年も弊社への変わらぬ御支援、御鞭撻を何卒宜しく御願ひ申し上げます。皆様の御健勝と御発展を祈念致しまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。

トーハツポンプ中央会秋期総会



山際の紅葉も見ごろになり始めた11月下旬、神奈川県は箱根にて平成30年度トーハツポンプ中央会秋期総会が開催されました。

第一部では事務局より平成30年度の事業経過報告や来年度の計画案の提示、また各会員様よりトーハツポンプの更なる拡販に向けてのご意見、ご要望などを多くいただきました。第二部では冒頭弊社代表取締役社長日向よりご挨拶をいただき、その後近況報告、また第一部で上げられたご意見ご要望について議論をさせていただき、活発な意見交換ができました。

第三部の懇親会は、普段接する機会が少ない各販売店様同士、業界の話を交えながら終始和やかなムードの中、執り行われました。翌日は箱根散策にも出かけ心身ともにリフレッシュされたことかと思えます。

お忙しい中ご参集くださいました会員の皆様には改めて御礼申し上げます。大変お疲れ様でした。
(防災中央／桑澤)

サービス研修会

トーハツポンプ中央会



長野県駒ヶ根市にてトーハツポンプ中央会秋期サービス研修会が開催されました。

来年度からは、埼玉県川口市に新設されたトーハツR&Dセンターにて開催を予定している為、駒ヶ根地区での最後の開催となりましたが、20名もの多くの方々にご参加いただきました。

午前中は水力学やメンテナンス方法、遠距離送水、中継送水などの基礎的内容を座学形式にて行い、午後は実機を用いて操法要領や、中継送水要領の説明の他、実際に操作いただき研修を行いました。

丸1日の長丁場になりましたが、参加者の皆様におかれましては最後まで熱心に研修に取り組んでいただき、充実した研修会になったかと思えます。

ご参加いただきました皆様、大変お疲れ様でした。

(防災中央／桑澤)

関西トーハツポンプ会

平成30年度関西トーハツポンプ会主催のサービス研修会を開催致しました。

今年は毎年増加する参加希望者に対応する為、7月25日に四国会場の徳島JA会館の会議室で、7月26日・8月7日に大阪会場のOMMビル会議室の計3回行い、37名のご参加を頂きました。

講習会では「いまさら聞けない初歩の初歩」に重きを置き、座学にてエンジンとポンプの構造、中継送水に関する初歩的な内容から始めて、後半では実技で4ストロークエンジンの修理対応で多い項目の対応方法と中継送水を行いました。

講習の中で、参加された方々から日頃の修理技術に関する情報交換も積極的に行われ、貴重な場となりました。

開催日の3日も記録的な猛暑の中で行われ、参加者の体調にも

気遣いながらの開催ではありましたが、体調不良を訴える方も無く無事終了しました。

ご多忙の中、また遠方までご参加頂きまして誠にありがとうございました。

(防災関西／金子)



九州・山口トーハツポンプ会

「平成30年度九州・山口トーハツポンプサービス研修会」が9月19日(金)福岡にて開催されました。9社の販売店から13名の方が講習会に参加し行われました。

従来は、分解・組立で普段から修理を行っている方々に向けての講習会でしたが今回は「営業サービス」の方々に、サービスで困った事、販売店での対応方法など色々な体験談をお話し頂き、情報交換も兼ねての意見交流・情報共有化を目的に行いました。

この度の研修会にご参加頂きました販売店の皆様、ならびに各関係部署のご協力をいただいた方々、誠にありがとうございました。重ねて誌上より厚く御礼申し上げます。

また、今回参加していただいた研修生のみなさん、大変お疲れ様

でした。

九州・山口トーハツポンプ会 藤中副会長様も参加して頂きありがとうございました。

(防災九州／荒田)



塩竈ボート天国開催



東北の港町・塩竈の魅力をおよそ1か月間にわたり体験できる『ゆめ博』。

このゆめ博内のイベントとして開催される塩竈ボート天国は、親子で海とボートの魅力に触れられ、自然が作った島と海のコントラストが優美な試乗コースで参加者を楽しませます。

試乗には、フィッシングボートTFW-25Rにパワフルで低燃費を両立した船外機BFT90Aをセットしご用意しました。沖に出ると近づく台風の影響で、試乗会としては比較的波も高かったものの、愛艇を検討されているお客様からは、実際の使われるシーンを体感でき好感触とのご意見をいただきました。展示船外機コーナーでは、各社が特徴的な製品を並べるなか、フェエ

ルインJECTIONモデルMFS20Eを展示。小型軽量を実現したスリムなボディで始動性、燃費に優れた船外機です。

会場には、ミニボートコーナーの他中古艇の販売やマリ用品のブースがあり、第二会場では、掃海艇ちぢまと多用途支援艦えんしゅうの一般公開も行われたため、非常に多くの方々が来場されましたが、近づく台風24号の影響を考慮し、残念ながら開催2日目のイベントは中止となりました。

会場を歩くと、まだまだ震災の爪痕を感じさせる東北地方ですが、マリイベントは、地域の協力とともに盛況に行われています。

(マリン課/大坪)



横浜ボートフェア開催



2018年10月6日より3日間、国内最大級を誇るマリーナ 横浜ベイサイドマリーナにおいて横浜ボートフェア2018が開催されました。

国内外から30艇を超えるボートが集まった他、イタリアの名車ランボルギーニ社の出展も相まって、一気にゴージャス感の増すイベントとなりました。

このイベントは幅広い方にマリレジャーに興味を持っていただくために開催されており、会期中は各メーカーのボート体験試乗や安全で快適なボートングライフを送って頂く為の情報提供が行われ、来場頂いた方々は会場の隅々まで足を運んでいただき、イベントを満喫して頂く事が出来ました。

弊社は入門艇としてお手頃価格で人気を博しております“TFW-17R”に、クラス最軽量を誇る4サイクル50馬力船外機“MFS50A”をセットしPRを行いました。トレーラーに載せる事で、気の向くままにお手軽フィッシングが実現可能となります。弊社ブースには、既に大型ボートを所有するボートオーナー様から、これからボートオーナーを目指す方まで、多くの方に来場頂きました。ボート所有への憧れを、少し現実に近づける事が出来た3日間となりました。

(東日本販売課/藤川)



セーリングワールドカップシリーズ 江ノ島大会2018

去る9月9日～16日、神奈川県藤沢市江ノ島で「セーリングワールドカップシリーズ江ノ島大会2018」が開催されました。

日本でのセーリングワールドカップ開催は昨年の愛知県蒲郡大会に続いて2回目の開催となりました。

江ノ島は、2020年東京オリンピックでのセーリング競技会場でもあります。オリンピックを見据え、今年の江ノ島大会には、世界約50カ国、600名のセーラーが集まりました。



我がトーハツも運営サポートとしてBWAリブポート4隻と人員を派遣し、世界トップレベルセーラー達の戦いを支えてきました。

その甲斐あってか、見事、男子470級で金メダル、女子470級で銀メダル獲得とダブルで快挙を成し遂げ、歓喜のフィナーレで大会の幕を閉じました。

(東日本販売課/飯島)

田老展示会

2018年9月19日から20日の間、岩手県宮古市の道の駅「たろう」にて田老漁業協同組合主催による秋の展示会が行われました。

アワビ・ウニ・ワカメ・コンブなどの天然資源に恵まれた漁場を持つ田老地区は、2011年の東日本大震災の影響により発生した津波で、大きな被害を受けました。

しかし、地域の方々の熱意により復興が進み、本年、道の駅「たろう」が、本格オープンし、立ち寄る観光客に魅力ある町をアピールしています。

トーハツ船外機を始め、農機具や中古車や田老の特産物を扱う展示会は、震災前には、春と秋の年2回行われていましたが、震災後は、場所を変えながら続けられ、昨年よりこの場所で開催されています。

晩秋から本格化するアワビ漁を前に浜は活気にあふれ、展示会も盛大に行われました。

漁協による、ワカメの詰め放題には、参加者が集まり行列をつくっていました。



復興も徐々に進み、少しずつ盛り上がりを見せている東北地方。今回、ご協力いただいた千葉農林漁業様に、今後もより一層ご尽力をいただき、船外機市場を盛り上げていきたいと思えます。

(東日本販売課/木村)



中国・山陰地区 TOHATSUパイロット店講習の開催

山陰の11月は暖かく穏やかな陽気が続く毎日です。
昨年夏に発表したクラス最軽量インジェクションMFS9.9E・15E・20E、性能・技術・デザイン面に於いて高い評価を得て世界各国に向けて絶賛発売中。

西日本販売課の中でも多数の販売店様からお褒めの言葉を頂戴し、より一層、アフターサービス、技術情報の共有を図るべく講習会を開催して参ります。

今回は11月6日、7日の両日、水産の街、鳥取県境港市の公共マリナーにて中国地方の方を中心に販売店様同士、ネットワークの構築をめざし6社6名の方にお集まりいただきました。

まず講習にあたり、新ブランド説明、トーハツマリン船外機累計生産台数400万台達成案内、来春発売予定のヤンマーOEM艇の紹介とホットニュースのご案内を致しました。

講習はキャブ仕様との違い、軽量化、システム開発秘話など、様々な開発に纏わる秘話を披露致しました。

また技術部門・サービス部門は埼玉に移転し川口R&Dへと変更し、高度な技術開発と緻密な設計・より信頼されるサービスを目指し、日夜努力をしている点を紹介致しました。

またサービス室・松村講師からはパイロット店の困った疑問、質問に丁寧に回答しパイロット店の方々も十分理解頂いたものと感じた1日目の座学でした。



2日目は実機を使い、パソコンダイアグ診断にてトラブルシューティングを行い、不調エンジンを診断、不具合部品の交換サインを確認、交換すると快調なエンジンに戻る様子も熟知いただき大変な好感を得られました。

これを機に各地でも益々パイロット店講習会を推し進めていきたいと存じます。

今回ご参加いただいた中国・山陰地区のパイロット店の皆様、誠に有難うございました。

今後共、皆様方と、より関係を深め販売に結び付けたく宜しくお願ひ申し上げます。

(西日本販売課/中野)

山陰地方の一般販売店さま向け 船外機講習の開催(MFS9.9E・15E・20E/25C・30C)



11月8日・9日の両日、山陰地区で船用機器の販売に力を注ぐ『ヤンマー船用システム山陰支店』様に場所を提供いただき山陰地方の一般販売店さま向け船外機講習会を初めて開催致しました。

1日目は昨年発売し絶賛発売中の軽量パワフル、フューエルインジェクションシステムMFS9.9E・15E・20Eの座学と実技。

2日目は腐食のメカニズムと当社が初めて世に送り出したバッテリーレスフューエルインジェクションシステム船外機の先駆けMFS25C/30Cの座学と実技を実施致しました。

内容はキャブ仕様との比較、軽量化に向けた開発秘話、アフターメンテナンスの重要性、新規構造の説明等、非常に興味を持って視聴いただきました。

またメカニズムは実機を用いたトラブルシューティング、ダイアグによる自己診断、不具合箇所を特定し対処する等、実戦に沿ったものです。販売店さまには、ダイアグ診断の必要性を認識されユーザー様に修理内容をお知らせすることが必要だと感じていただけました。

初めての開催に、非常に多くの販売店様に受講いただき、皆さまに満足いただけた2日間だと思慮致します。

来年もまた随時開催して参りたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

(西日本販売課/中野)

千葉県九十九里町片貝海岸における遠距離送水試験

2年前の新潟県糸魚川の大規模火災を受け、消防水利の確保について見直されている中、有事の際には海や河川などの自然水利を水源として消火活動を行わなければならない事態も想定されています。

トーハツでは去る9月に、九十九里町の片貝海岸にて海水を使用しての遠距離送水及び放水の試験を行いました。

VF63AS(B2級)においては、ホース2線にて500m(各線ホース25本)を展開し、500m先での放水圧及び水量を検証。また、500m地点に自動中継機能付ポンプVF63AS-R(B2級)を設置し、ホース1線(25本+25本)にて1,000m先での放水量及び放水圧の検証を行いました。VF63ASでの500mの2線送水では、最大1,200L/minの水を送れる結果となり、有効な水量を確保できる事が検証できました。

更に今回は可搬消防ポンプとしては初のB1級ポンプ、VE90AS(Ti)にて同様の試験を行いました。ポンプ車に近い圧力を出せるよう設計した2stインジェクション仕様の最上位クラスになります。VE90AS(Ti)での500mの2線送水では、最大1,560L/minの水を送れる結果となり、一般的に消火に有効と言われている500L/minであれば、3線でも放水できるだけの水量が十分確保できる事が検証できました。

今回の送水試験にて、有事の際に遠く離れた水源からの水利確保、また放水活動にも可搬消防ポンプが有効であることを検証できました。撮影に際しご協力をいただきました、九十九里漁業協同組合、九十九里町役場の各関係者様には厚く御礼申し上げます。今回の送水試験映像は弊社ホームページにも掲載しておりますので、是非ご覧ください。

(防災中央/桑澤)



倉敷市消防局へ

ポンプ搭載の消防車両2台寄贈

平成30年11月15日、トーハツ防災営業部が保有していた消防車両2台に可搬消防ポンプを搭載し、岡山県倉敷市消防局に寄贈。感謝状を受領いたしました。

本車両は、平成30年7月に発生した西日本豪雨により、町全体が水没、消防車両8台が被災した倉敷市真備町の玉島消防署真備分署に配備の予定となります。

復興支援などの活動に尽力されている方々に深く敬意を表しますとともに、被災されました皆さまの安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。
(防災関西／小鷹)



平成30年度

東北トーハツポンプ会秋季研修旅行

去る10月18日(木)～20日(土)、東北トーハツポンプ会は、平成30年度秋季研修旅行、及び第26回全国消防操法大会の視察を実施致しました。秋季総会は、道中の貸切観光バス内で行いました。総会終了後に砂浜を観光バスで走行可能な千里浜を走行するなど貴重な体験をして温泉宿に到着。穏やかな七尾湾を眺めての温泉は心身ともに癒されました。

翌日は、主目的である全国消防操法大会を視察に富山市内まで移動し、各県の代表を応援した結果、見事トーハツポンプが優勝。その晩での懇親会では、昨晚以上に美味しいお酒を頂きました。会員の皆様大変お疲れ様でした。

(防災東北／田中)



第26回 全国消防操法大会

去る2018年10月19日(金)に富山県広域消防防災センターにて「第26回全国消防操法大会」が開催されました。全国消防操法大会は消防団員の技術向上や士気高揚、消防活動の充実発展に寄与することを目的とし、1968年の第1回大会の開催以来2年ごとに開催しており、今大会で第26回大会となります。

全国の消防団が日夜、訓練に勤しみ、各大会を勝ち進んで各都道府県の代表として出場しております。

ポンプ車の部として23隊、小型ポンプの部として25隊が出場しました。出場団員の皆様は地元で日頃より消防団として活動しており、この大会の為に選抜された団員の皆様が操法競技の為にさらに技量を高めて出場しております。

出場された消防団の皆様は訓練の成果を如何なく発揮し、優勝された団をはじめ、準優勝までをトーハツポンプで独占することができました。出場選手及び大会関係者の皆様、大変お疲れ様でした。

(消防車両課／黒田)



成績	都道府県名	消防団名	ポンプ型式
優勝	滋賀県	日野町消防団	VC72PROIII
	鹿児島県	長島町消防団	VC62AS
準優勝	兵庫県	福崎町消防団	VC72PROIII
	岐阜県	下呂市消防団	VC72PROIII
	広島県	福山市消防団	VC72PROIII
優良賞	島根県	益田市消防団	他社
	山口県	山口市消防団	他社
	佐賀県	鹿島市消防団	VF63AS
	青森県	南部町消防団	VC72PROIII
	富山県	砺波市消防団	VC72PROIII

※メーカー別ポンプ出舞台数(総数：25チーム)
トーハツ：18チーム 他社：7チーム

トーハツR&Dセンター稼働

トーハツ株式会社は、研究開発拠点「トーハツR&Dセンター」(埼玉県川口市領家5-11-8、土地面積7,661m²、建物総面積7,265.95m²(延床))を平成30年8月31日竣工し、同年9月3日より稼働を開始致しました。

従来、技術棟(東京都板橋区)と工場(長野県駒ヶ根市)内で分散して行われていた研究開発を一拠点に統合することにより、より効率のよい研究開発を推進します。

トーハツR&Dセンターは、試験設備を船外機と可搬消防ポンプの特徴に合わせて設計されております。船外機の運転試験用設備では、安定的な運転を維持するための大型回流水槽を設置しているほか、可搬消防ポンプの放水・吸水性能を確認するための深さ15mの水槽設備など、製品特徴に合わせて大量の水を利用する専用設備を設けました。併せて、極端な低温・高温環境での機関運転状態を確認するための恒温室も備えています。これらの多岐に渡る試験設備により、各国の規制や規格に適合させるための重要な評価試験を実施することが可能です。

2022年に迎える創業100周年を見据え、国内のみならず海外市場のニーズを先読みした技術開発を短期間で実現し、製品として提供することを目指して参ります。





ベトナムの展示会に出展

「SECUTECH 2018」

毎年8月に開催されるベトナム国際防災展(SECUTECH2018)が今年も8月16日から18日までの3日間で開催されました。出展企業は防災やセキュリティに関連する企業約120社で日本からは7社の出展がありました。

展示会の注目度は高く、現地の消防関係者だけでなく、一般の来場者の訪問も多く、ベトナムでも防災意識が高いことを実感しました。当社のブースでは、VE1500、VF63AS-R、V20FSの新型の3台の展示と、VE1500の1000m送水・VF63AS-Rの自動中継の動画を流し、使用状況や放水能力のPRを行いました。

訪問頂いた政府関係者からは、VC82ASが販売終了の為、新型モデルのVE1500を見に来たと話がありました。トーハツの名前は既に広く知られており、実際に当社のポンプを使用している民間企業の購買担当者や防災管理の担当者の訪問もありました。

V75やV38のような旧型モデルがまだまだ現役で使われている現状を知ることができ、担当者からは新型モデルとの違いについて等、多くの質問が寄せられました。VF63AS-Rも注目を集め、理由は自動中継機能の他、見た目がカッコいいという反応もありました。東南アジア地域では2ストロークモデルが多いため、今後VFシリーズの納入を目指す良い機会になったと感じました。

(防災海外課/田村(多))



欧州国際防災展

9月にフィンランド及びフランスにて国際防災展が開催されました。弊社フィンランド、フランス販売店にて出展致しましたが、既存ポンプと合わせ新製品の車両積載用ポンプVE1500A-Tiを展示致しました。車両積載メーカーへの販売展開を見据え、本展示会を通じ、VE1500A-Tiに対する来場者からの反応を確認する事ができました。VE1500A-Tiは消防車両で主に使用されているPTOポンプと比較し、軽量且つコンパクトであり、操作・メンテナンスも簡易的である為、車両積載メーカーへの新たな提案として、非常に良い反応及び興味を引く事ができました。欧州のみならず他地域への展開も進めていきたいと思えます。

(防災海外課/田村(元))

フィンランド
展示会
(Turvallisuus
Tampere 2018)



欧州国際
防災展



発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 3-5-4
TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090

トーハツ株式会社
トーハツパートナー編集局
編集兼発行責任者 牧 邦治/青山 滋

パートナーをご購読の皆様へ
パートナーご購読頂きまして感謝申し上げます。
次号より印刷物ではなく、電子書籍パートナーとしてメールにて配信させていただきます。
(弊社webサイトにも掲載しております。)